読むと中立のまちが♥好き♥になる

中立学区ニュース

上京区社協が発行する、コロナ禍における学区内の動きをお伝えするニュースです。

No.1 Aug.2020

コロナ禍の中でも、安心して暮らし続けられるまちづくりが、中立学区では行われています。

中立学区では今日も、３密や衛生面に気を配りながらまちづくり活動が行われています。今回は、中立住民福祉協議会の本部委員会（6/19）・和い輪いカフェ（6/20）・やわらぎの園（6/23）の様子を紹介します。

本部委員会の様子。
活動を進めるための意見がたくさん出されました。

和い輪いカフェの様子。
ゆったりとした時間が流れています。

やわらぎの園の様子。
多様な介護予防のプログラムが用意されています。

◎「不安を抱える今だからこそ、集まることが大切」

本部委員会は、「コロナ禍で、大規模な行事に成長した『ふれあい広場』をはじめとする活動が開催困難。どうすればウィズコロナ時代の活動を進めていけるのか」と題し、意見交換を行いました。

参加者からは、

・区民体育祭はできないけれど、「スポーツを楽しむ日」と銘打った体験型のイベントをできないかな？
・複数のイベントを複数の団体が力を合わせて開催できないかな？
・普段の活動の担い手は、感染リスクが高い高齢者中心。だから、今年は担い手を若い層中心に絞り、それでもできる形のイベントを考えたい。
・小学校・中学校のグラウンドをお借りし、密にならない形でクイズ大会や演奏会ができないかな？
・不安を抱える今だからこそ、集まることが大切。３密にならない形で実現させたいね。
・マスクによる熱中症のことも考えないと。
・知恵を絞るチームづくりをしましょう。

といった意見が出され、今後も検討を重ねることとなりました。

◎「まちづくりや防災を振り返る、いい機会にしたい」

和い輪いカフェでは、中立学区在住の多世代の方が交流を楽しみ、活動再開を喜びました。参加者さんはコロナ禍について、「出歩くことが出来ず、不安だった」「元通りの日常に戻ってほしい」と話されていました。また、「今まで通りのまちづくりや防災でいいのか、振り返るいい機会にしたい」と語ってくださった方もいらっしゃいました。

やわらぎの園は、主に高齢の方を対象とした介護予防の活動です。担い手さんの手作りによるカレンダーの塗り絵や、区地域介護予防推進センターの職員さんによる体操、３～６月が誕生日だった参加者さんのお祝いなどを行いました。

92 歳の参加者さんに「元気の秘訣」を尋ねたところ、「食事は腹八分目にしています。コロナ禍だけど、ずっと家に籠ってたら良くないし、外には出るようにしています。週に２回お稽古（編み物、短歌）に通っているし、一週間があっという間。昔はダンスもしていたの。今でもやろうと思えばできますよ、相手次第で（笑）」と話してくださいました。

会場では、非接触型体温計を使った検温、消毒・換気が行われていて、担い手の方々がコロナ感染拡大防止や参加者さんの不安の解消に努めておられました。

活動の内容は、コロナ禍の状況により変更となる可能性があります。
最新の活動は上京区社協（Tel:432-9535）までお尋ねください。

＼反対側の面も、ぜひご覧ください！／